

令和6年度

ARTで地域づくり実践講座 in 美咲町

「アートイベントするには何をしたらいい？」

「地域のイベントをもっと良くしたいな・・・。」

そう思っているあなた、

ご参加ください！



県内で地域資源と

文化芸術を

活用したイベントの

企画・マネジメントをしたい方に

オススメの育成講座

美咲町

データ

面積：232.17km²

町の木：桜

町の花：さつき・菊



受講生募集!

講座期間

2024年6月 → 2025年1月

場所 美咲町 実証イベント会場(候補) 美咲町多世代交流拠点「みさキラリ」・北和気郷土資料館周辺

常任講師 北島 琢也 岸本 和明 スミカオリ

主催：岡山県・アートで地域づくり実践講座実行委員会

ARTで地域づくり実践講座とは？

----- 地域のイベントは、地域を活気づけ、賑わいを生み出すことができ、加えて、文化芸術を活用することで、子どもから大人まで、誰でも気軽に参加できます。そんなイベントを自分でコーディネートしてみませんか？ イベントの企画やマネジメント、アーティストとの交渉、広報の手法など、必要なノウハウを学べる育成講座がこの「アートで地域づくり実践講座」です。

講座で学べる3つのPoint!

1. 企画作りのノウハウ

企画の作り方から地域との連携方法、予算、危機管理、広報手段など企画に必要なノウハウを座学とワークショップで学びます。最後には、あなただけのイベント企画を作ることができるようになります。

2. イベント経験

地域の資源(歴史、文化、特産品など)の魅力を活かしたアートイベントを実際におこなっていただきます。成功しても失敗しても大丈夫！振り返りもおこなうので、イベント経験を積むことができます。

3. ネットワークづくり

一緒に学ぶ受講生はもちろん、講師や地域の方など、関わる方とのネットワークが広がります。修了後、受講生や講師が仲間として一緒にイベントをした事例もあります。

実証イベント

講座では、講師の指導のもと、11月に2日間、アートイベントを実際におこなってもらいます。イベントをするのが初めてという方でも、チームで実施するので失敗を恐れずチャレンジできます



美咲町多世代交流拠点施設「みさきラリ」
(5月～6月にオープン予定)



北和気郷土資料館周辺

受講生全員で話し合い協力して、アートイベントのコンセプトづくりから企画、予算の計画・執行、招へいアーティスト選定、イベント準備・当日の運営まで、ゼロからすべてを行います！

特別な知識やイベント経験がないけど大丈夫？



やる気があれば大丈夫！講師の指導のもとノウハウの取得やイベント体験ができるので初心者でも安心です。

美咲町に住んでいないけど、参加してもいいの？

Q&A

住所は問いません。講座で学んだノウハウを使って、地元でイベントを企画している修了生もいます。

自分がしているイベントをもっとよくしたい！

講座では、イベント企画に必要なコツが学べるので、いままでの経験に不足していた点や改善できる点を見つけることができます。

Schedule

月に1、2回（計13回）程度講座を開きイベント開催のノウハウを学びます。
※原則土曜日・美咲町内で開催します。

初回日時

6月8日(土) 10:00～16:00

場所 美咲町役場第2分庁舎
(美咲町原田1724-3)

月	講座内容
6	オリエンテーション 講座内で、第2回目以降の講座の予定表を配布します。
7	企画を考える 実証イベントのコンセプトを決めます。イベントに必要なノウハウを学びます。
8	企画・イベント概要の決定 広報を学ぶ（WEB・チラシ・クラウドファンディング・プレス対応等） グループに分かれてイベント準備を進めます。
9	地域とのつながり方を学ぶ 必要に応じて、地域の方に向けたイベント説明会を行います。
10	実証イベント準備
11	最終確認 & 実証イベント
12	実証イベント振り返り
1	イベント企画書の作成 イベント企画の発表・講評 修了式

3名の常任講師が
受講生をバックアップ
します！
その他、特別講師による
講義も予定しています。

常任講師 Profile

きたじま たくや
北島 琢也株式会社 KAMP
代表取締役 / プロデューサー

2009年、東京から帰省し、奉還町に拠点を構え街のカルチャーづくりに取り組む。ローカルからグローバルに様々なプロジェクトの企画、運営、クリエイティブディレクションに携わる。全国のサブカルチャーからメジャーなカルチャーに精通し、多角的な視野から新しいアイデアを提案する。現在進行中のプロジェクト Neo 西奉還町商店街メタバース化計画のプロデューサーも務める。

きしもと かずあき
岸本 和明

奈義町現代美術館 館長

1963年生まれ。勝央町出身。1992年、奈義町美術館・図書館の開設準備室学芸員として勤務。1994年の奈義町現代美術館開館以来、今日まで美術館管理・運営全般に携わり、多くの展覧会・イベントの企画・運営に関わる。2014年、館長就任。2015年から「美作三湯芸術温度」キュレーター。2016年、第17回「福武教育文化振興財団」奨励賞受賞。2022年、「森の芸術祭 晴れの国・岡山」地域文化アドバイザー就任。

パートタイマー
(ヨノナカ実習室 実習助手・さざなみハウス 書生・日本捏造協会 会員)

スミカオリ

岡山生まれ岡山育ち。学校教育に20年携わった後、独立。ヨノナカ実習室では、調理実習や木工実習のように、対話や表現の実習活動やヨノナカへのいっしょかみに挑戦する。無責任雑誌編集の会、不器用な人のための編み物の会、100時間デ名著、作文応援団などを継続中。令和4年度アートで地域づくり実践講座受講を機に、そのまま牛窓に通っています。

先輩の声

----- 受講修了生の皆さんに
講座の感想を聞きました！

イベントを作り上げる過程はゼロから考えていくことになるので自分が持っているアートへの思いや地域への思いを深掘りしていくよい機会になると思います。イベントが無事に終了したら、きっとまた次のイベントを考えたいと感じると思います。
(40代 / 女性)

私は、アートに関し知識・技能、創作意欲に乏しかったのですが、講師・事務局の方々の指導助言・サポート、メンバー相互の協力の中で多くの学びを得られたことで講座を修了することができました。色々な立場の方が講座に関わるからこそ、自分と異なる課題解決方法を学ぶことができました。また、受講生が主体的に計画作成・遂行し、予算執行も行うことができるので、体験的な学びの機会が得られます。
(30代 / 男性)

イベントまでの道のりまでは困難なこと、大変なこともありましたが、協力しながらイベントを作り上げていくその過程では、今までに経験したことのないくらい大きな達成感を感じることができました。関わってくださった皆様に本当に感謝しています。
(20代 / 男性)

講座修了後の支援もあります

- ・ 講座修了生が企画したイベントを支援
- ・ 翌年度以降のフォローアップ講座・相談体制の充実！

申込書は裏面へ



参加申し込みにあたって

講座参加を希望される方は、下記の申込書に記入のうえ、
郵送・FAX・E-mailのいずれかでお申し込みください。選考結果を申込者全員に通知します。
受講申込書の様式は、岡山県文化振興課のホームページ「トピックス」からダウンロードすることもできます。

※受講生の自主的な活動と実践を通じて、必要なスキルや技術等を習得していただきます。

対象者 - 20名程度 -

- 岡山県在住または通勤、通学をしている方で、文化を活用した地域づくりに挑戦したい18歳以上の方。
- 可能な限り全ての講座に出席可能な方。(優先すべき事柄がある方は、申込書その他の欄に明記してください。)
- 講座や実証イベントの開催会場へ、ご自身でお越しになれる方。(送迎はありません。)

受講料 (講座初日に現金でお支払いいただきます。)

- 年間 5,000 円 (学生 3,000 円)
- 講座にかかる交通費等は、受講生の自己負担となります。

※ 受講にあたっての注意事項

- ・ 受講生に選考された場合、氏名・住所(市町村名)・写真は、講座資料や講座の広報資料などに掲載されることがありますので、ご了承ください。
- ・ 申込書にご記入いただいた個人情報、講座の運営を行う目的以外には使用しません。
- ・ 応募者が多数の場合は、申込書をもとに事務局において受講生を決定します。
- ・ 全ての受講生は、ボランティア保険に加入します。
- ・ お支払いいただいた受講料は、返金できません。

お問い合わせ
お申し込み先

〒700-8570
岡山市北区内山下2丁目4番6号
岡山県環境文化振興課内
アートで地域づくり実践講座事務局
TEL : 086 - 226 - 7903 (平日8:30~17:00)
FAX : 086 - 233 - 5720
E-mail : art-chiiki@pref.okayama.lg.jp

申込み締切

令和6年 **5月31日(金)** (必着)

キリトリ

令和6年度 アートで地域づくり実践講座申込書

申込書に記入のうえ、郵送・FAX・E-mail
のいずれかでお申し込みください。

ふりがな				満年齢 (R6.4.1時点)	歳
氏名					
住所	〒				
職業(学生は 学校・学部名)					
電話番号	() - ()	(携帯・自宅・勤務先)			(連絡可能時間: 時~ 時頃)
※電話番号は、もっとも連絡が付きやすいものをご記入ください。					
FAX	() -	E-mail	@		
経歴(得意分野や、地域文化活動歴等があれば記入してください。)					
その他 講座への参加動機や特筆事項を記入してください。				参加手段(該当に○)	
				車 ・ 公共交通機関 その他 ()	